

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会 有機性排水処理技術ワーキンググループ会合(第2回)

議事要旨

1. 日時：平成19年3月19日(月)16:00～17:30

2. 場所：霞山会館 松の間

3. 議題

- (1) 実証試験結果報告書の検討について
- (2) 実証試験要領について
- (3) 実証機関の公募・選定について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他

4. 出席検討員：藤田正憲(座長)、中井尚、名取眞

実証機関：大阪府 藤村正、阿部恭司

財団法人関西環境管理技術センター 門口敬子、若杉淳子

5. 配布資料

資料1 平成18年度環境技術実証モデル事業検討会有機性排水処理技術
ワーキンググループ会合(第1回)議事概要(案)

資料2 平成18年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
のこれまでの経緯について

資料3 平成18年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証試験結果報告書(大阪府)

3-1 垂直重力式油水分離器(VGS)/日東鐵工株式会社

3-2 食品残さ簡易回収システム『ラクツチャ〜』/有限会社KOMATSU

資料4 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野における実証機関選定の考え方について(案)

資料5 実証機関の募集における申請書類について(案)

資料6 今後のスケジュール(案)

参考資料

- 1 小規模事業場向け有機性排水処理技術（厨房・食堂、食品工場関係）実証試験要領（第3版）
- 2 実証試験における試料の採水頻度及び採取方法について（大阪府）
- 3 環境技術実証モデル事業（小規模事業場向け有機性排水処理技術分野）に関するアンケート（平成15、16年度実証機関向け）の結果概要

6．議事

会議は公開で行われた。

（1）実証試験結果報告書の検討について

実証機関から資料3に基づき各資料を説明の後、質疑。

- ・実証試験結果における水質変動について、水質変動の大きい現場環境である旨注釈を追加すべきことが指摘された。
- ・実証試験結果報告書については若干の修正が必要ではあるものの概ね了承された。

（2）実証試験要領について

実証機関から参考資料2に基づき、実証試験要領（第3版）に対する意見について説明。

- ・実証試験要領の改定は、実証機関からの意見等を参考にしつつ、今後検討することとされた。

（3）実証機関の公募・選定について

事務局から、資料4「実証機関選定の考え方について」及び資料5「実証機関の募集における申請書類について」について説明。

- ・今後とも本年度と同様、自治体のみならず広く枠を広げて実証機関を募集していくことが確認された。
- ・環境省から、参考資料3「アンケート（平成15、16年度実証機関向け）の結果概要」について説明。

（4）今後のスケジュールについて

事務局から、資料6「今後のスケジュール」について説明。

（5）その他

- ・今回の会合資料及び議事要旨についてはホームページ等で公開することが了承された。

（文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり）